



**ONKYO®**

**WAVIO**  
WAVIO AV SYSTEM

**SE-80PCI**

PCI DIGITAL AUDIO BOARD

# インストールマニュアル

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
まず。

ご使用前にこの「インストールマニュアル」をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。



## 特長

先進のデジタル技術と高度なオーディオノウハウを融合して、徹底したノイズ低減を実現した画期的オーディオボード。新回路設計、デジタル出力端子装備、金メッキ端子採用など、圧倒的なサウンドパフォーマンスでこれからのデジタルオーディオ時代に対応します。

- SN比110dB：徹底したノイズ低減を実現する新回路VLSCを搭載
- オーディオ用部品の選択から配置まで徹底した高品位設計
- 2系統の光デジタル出力、アナログ入力／出力端子を搭載
- 2チャンネルデジタル出力に加え、5.1チャンネルデジタル出力にも対応

本製品をお使いいただくにあたり、下記注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、Windowsの基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本製品を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、誤操作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、将来、予告なく変更されることがあります。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。
- WAVIO AV SYSTEM、CarryOn Musicの名称およびロゴはオンキヨー株式会社の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows® XP、Windows® Me、Windows® 2000 Professionalは、米国 Microsoft corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- AcrobatはAdobe社の登録商標です。
- DigiOn、DigiOnSoundの名称およびロゴは株式会社デジオンの商標です。
- 本書に記載されているハードウェアおよびソフトウェアの名称は、各社の商標もしくは登録商標です。



# 目次

特長 .....	2
目次 .....	3
オーディオ機器の正しい使いかた .....	4
<b>製品構成</b>	
製品構成 .....	8
各部の名称と働き .....	8
CD-ROMに収録のソフトウェア .....	9
必要なシステム構成 .....	9
詳細な情報について .....	9
<b>オーディオボードの取り付け</b>	
BIOSの設定 .....	10
オーディオボードの取り付け .....	11
オーディオ機器との接続例 .....	12
<b>オーディオボードドライバのインストール</b>	
ドライバのインストール (Windows XPの場合) .....	13
ドライバのインストール (Windows Meの場合) .....	14
ドライバのインストール (Windows 2000の場合) .....	16
ドライバインストールの確認 .....	17
オーディオデバイスの確認 .....	17
<b>デジタル出力の設定</b>	
デジタル (S/PDIF) 出力の設定 .....	18
<b>再生のしかた</b>	
ボリュームコントロールの使いかた .....	19
Windows Media Playerの使いかた .....	19
パソコンの音声をアンプ内蔵のPC用スピーカーで再生する (アナログ出力) .....	20
パソコンの音声を5.1chデジタルホームシアターシステムで再生する .....	21
<b>録音のしかた</b>	
録音コントロールの使いかた .....	22
サウンドレコーダーの使いかた .....	23
ライン入力のアナログ音声をパソコンに入力する .....	24
<b>オンラインマニュアルの使いかた</b>	
Acrobat Readerのインストール .....	26
Acrobat Readerの基本操作 .....	26
主な仕様 .....	27
故障かな?と思ったら .....	28
修理について .....	30
オンキヨーで相談窓口・修理窓口のご案内 .....	31



# オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください

## 絵表示について

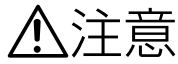
この「インストールマニュアル」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。





## オーディオ機器の正しい使いかた

### 警告

#### ■ 故障したままの使用はしない



電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにPC（パーソナルコンピュータ）の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

#### ■ 絶対に改造しない



分解禁止

- 本製品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

#### ■ 水のかかるところに置かない



水ぬれ禁止

- 本製品は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

#### ■ 落としたり、破損した状態で使用しない



- 万一、誤って本製品を落としたり、破損した場合は、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。必ず販売店にご相談ください。

## オーディオ機器の正しい使いかた

### ⚠注意

#### ■ 次のような場所に置かない



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

#### ■ 使用上の注意



- 電源を入れたときは、音量に注意してください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

#### ■ 取り付けと静電気について



電源プラグをコンセントから抜いてください



- 本製品の取り付けは、必ずPC（パーソナルコンピュータ）の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源を入れたままでの取り付けは、絶対にしないでください。火災や感電の原因となります。
- 本製品を装着する場合や、ボードに触れる場合には、アースが接続されているものに触れ、身体の静電気を取り除いておいてください。
- 本製品は部品の帯電による故障防止の為、静電気防止袋で保護されています。装着の準備が整うまで、本製品を静電気防止袋から取り出さないでください。
- 本製品に触れるときには、縁や取り付けの金属部分を持つようにしてください。ボード上の部分や端子部分には触れないでください。
- プラスチック、ビニール、羊毛の繊維製品等静電気を発生しやすいものは遠ざけておいてください。
- 冬場など空気の乾燥した時期には静電気を取り除く際に、衝撃を受けます。この場合には金属製のスプーンなどを手にしっかり握り、スプーンの手先で水道管に触るようにすれば、放電の衝撃を和らげることができます。



## オーディオ機器の正しい使いかた

### ⚠注意

#### ■ 接続について



- 本製品を他のオーディオ機器やテレビ等の機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

#### ■ 点検・工事について



電源プラグをコンセントから抜いてください



- お手入れの際は、安全のためPCの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。変形することがあります。

### ♪音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分しましょう。  
特に静かな夜間には、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。  
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

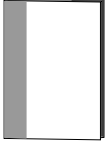




# 製品構成

## ■ 製品構成

( ) 内の数字は数量を表しています



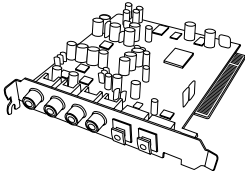
インストールマニュアル  
(本書1)



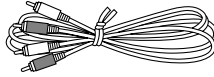
保証書 (1)



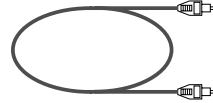
インストールCD-ROM (1)



オーディオボード (1)

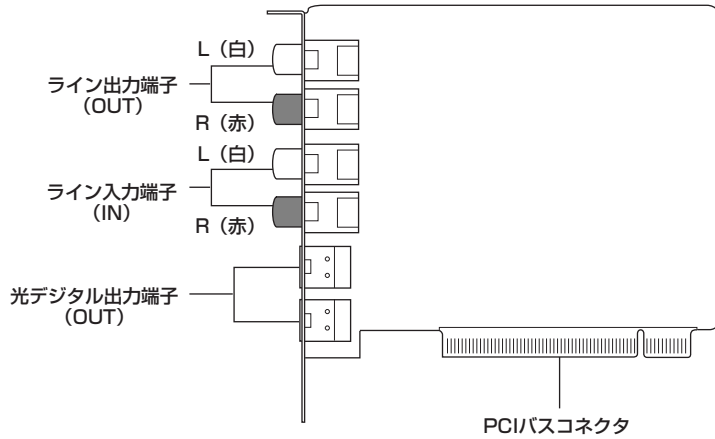


オーディオ用ピンコード (1)



光デジタルケーブル (1)

## ■ 各部の名称と働き





## 製品構成

### ■ CD-ROMに収録のソフトウェア

#### 1. CarryOn Music™ Ver. 2.70 体験版

WAVE、MP3、WMA、MIDIファイルを一括してデータベース管理できるライブラリ機能、高音質・高速でのMP3、WMAエンコード、CDDDB2からのタイトル取得、外部入力したサウンドデータのMP3変換機能など、音楽を自在に操るオリジナルのデジタルオーディオソフトです。



#### 2. DigiOnSound™ 2 体験版

高音質/高機能ながら、完全日本語対応・洗練されたユーザインターフェースで初心者でも簡単に操作可能なサウンド波形編集ソフトです。Windows環境に対応した、日本語版マルチトラックサウンド編集ソフトで、最大6トラックのサウンド編集、動画プレビュー、音楽CD直接読み込み、高音質サンプリングなど、ハイスペックな機能を満載して、多彩なエフェクトで思いのままのサウンド編集を可能にします。

**ご注意**

本ソフトウェアの使用方法については、プログラム本体インストール後、ヘルプをご参照ください。

### ■ 必要なシステム構成

- Intel Pentium II 350MHz以上のCPUを搭載したPC/AT互換機
- 64MB以上のメインメモリー
- 20MB以上のHDD空き容量
- PCIバス空きスロット1つ (Ver. 2.1以上)
- ソフトウェアインストール用のCD-ROMドライブ
- Windows XP、Windows Me、Windows 2000 professional

**ご注意**

- ドライバ等のアップデートは弊社Webサイトにて行いますので、インターネット接続が可能なPC環境を推奨します。
- 付属ソフトのインストールおよび動作に関しては別途HDDの容量が必要になります。

### ■ 詳細な情報について

当社Webサイト(<http://www.wavio.net/>)には最新の情報や追加・変更情報が公開されていることがあります。作業を始める前に当社Webサイトをご確認頂くことをお勧めいたします。また、ドライバ等の更新もWebサイトにて行います。また、付属のCD-ROMにはソフトウェアの詳細な使用方法が記載されたPDFファイルがございますので、お使いの際はそちらをご覧ください。



# オーディオボードの取り付け

## ご注意：

オーディオボードの取り付けを始める前に、必ず「オーディオ機器の正しい使いかた」の注意事項を確認してください（4～7ページ参照）。

## ■ BIOSの設定

PCによってはオーディオ機能をマザーボードに内蔵しているものがあり、そのままの状態では本製品が正しく動作しない場合があります。

本製品を使用するには、BIOSセットアップユーティリティでマザーボードのオーディオ機能を無効にすることを推奨します。PCのオーディオ機能、BIOSセットアップユーティリティについては、PCに付属のマニュアル等をご確認ください。

1. PCの電源を入れます。
2. Windowsが起動する前に、BIOSセットアップユーティリティを起動します。
3. オーディオデバイスが有効になっていれば、無効に設定します。
4. 設定を保存し、BIOSセットアップユーティリティを終了します。



## オーディオボードの取り付け

### ■ オーディオボードの取り付け

1. PC（パーソナルコンピュータ）と周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. PCのケース金属部分に触れ、身体の静電気を放出します。

**ご注意**

静電気の放出を行わないと、ボードやPC本体を破壊することがあります。

3. PCのケースをはずします。

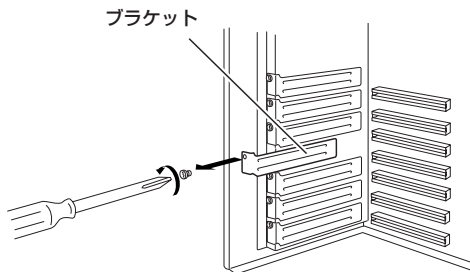
**ヒント**

ケースのはずし方は、お手持ちのPCの取扱説明書を参照してください。

4. PCIバス拡張スロットの位置を確認し、拡張スロットのブラケットを止めているネジをはずします。
5. ブラケットを取りはずします。はずしたブラケットとネジは保管しておいてください。

**ご注意**

PC内部やボードには突起がありますので、けがをしないように注意してください。



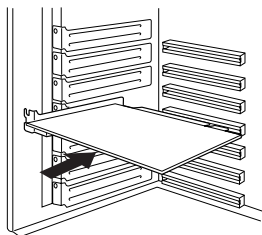
**ご注意**

ドライバーはネジにあったものをご使用ください。ネジにあわないドライバーを使用されますと、ネジを破損するおそれがあります。

**ヒント**

はずしたネジはボードの取り付けに使用します。

6. メインボードの金属端子部分やピンを曲げないように注意してPCIバスコネクタにまっすぐに挿入します。



**ご注意**

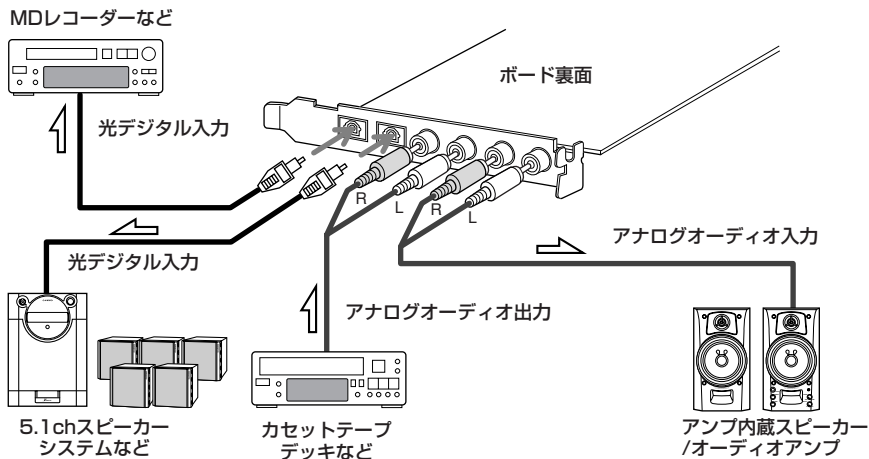
この時メインボードが拡張スロットにしっかり挿入、固定されているか必ずご確認ください。正しく挿入されていないと、認識できなかつたり誤動作の原因となる場合があります。

7. 手順4で取りはずしたネジでメインボードを拡張スロットに固定します。



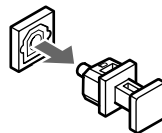
## オーディオボードの取り付け

### ■ オーディオ機器との接続例



◀ : 信号の流れ

光デジタル出力端子の保護用キャップについて  
 接続時は取り外して、大切に保管してください。  
 端子を使用しない場合は、必ずキャップを元ど  
 おりに取り付けてください。



# オーディオボードドライバのインストール

## ■ ドライバのインストール (Windows XPの場合)

### ご注意

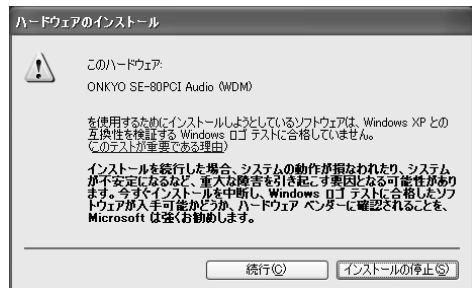
インストール作業を開始する前に必ずPCの電源が切れていることを確認してください。

1. 本製品を「オーディオボードの取り付け」(10~12ページ)に従ってPCに取り付けます。
2. PCを起動すると、Windowsの起動中に本製品が自動的に検出され、Windows XPに標準で用意されているドライバがインストールされます。
3. Windows XPに標準で用意されているドライバの自動インストールが終わった状態で、本製品のドライバのインストール作業に進みます。付属CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
4. まず付属CD-ROMの「Driver」フォルダー→「win\_xp」フォルダ内にある「Setup.exe」ファイルを実行(ダブルクリック)します。

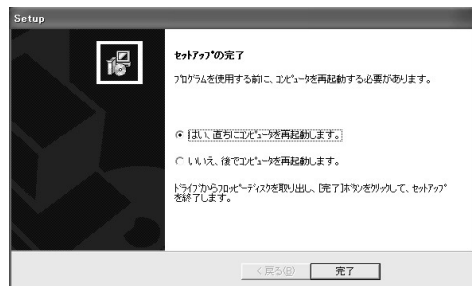


5. 「次へ」をクリックすると右の画面が表示されますので、「続行」をクリックします。

※ 同梱のドライバはマイクロソフト社の認証を受けていないためメッセージが表示されますが、弊社での検証上システムに重大な影響を及ぼす危険性はありません。



6. ドライバファイルのコピーが始まり、右の画面が表示されますので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。Windowsが再起動されます。
7. Windowsの再起動後、ドライバのセットアップが自動で行われ、インストール作業は終了です。



### ご注意

環境によってはWindowsのシステムCD-ROMが必要になる場合があります。



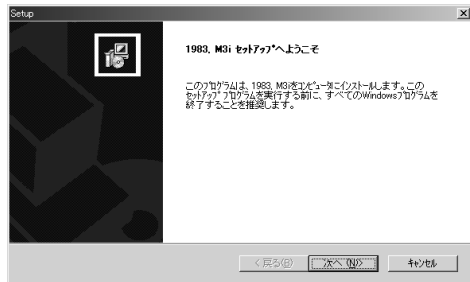
## オーディオボードドライバのインストール

### ■ ドライバのインストール (Windows Meの場合)

#### ご注意

インストール作業を開始する前に必ずPCの電源が切れていることを確認してください。

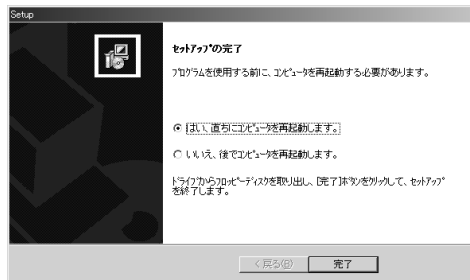
1. 本製品を「オーディオボードの取り付け」(10~12ページ)に従ってPCIに取り付けます。
2. PCを起動すると、Windowsの起動中に本製品が自動的に検出され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されますが、Windowsが正常起動するまでいったん「キャンセル」をクリックして終了させます。
3. Windowsが完全に起動し終わった状態でドライバのインストール作業に進みます。付属CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
4. まず付属CD-ROMの「Driver」フォルダー→「win\_me」フォルダ内にある「Setup.exe」ファイルを実行(ダブルクリック)します。



5. 「次へ」をクリックすると右の画面が表示されますので、「ドライバのアップグレード」を選択して「次へ」をクリックします。



6. ドライバファイルのコピーが始まり、右の画面が表示されますので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。Windowsが再起動されます。
7. Windowsの再起動後、ドライバのセットアップが自動で行われ、インストール作業は終了です。



#### ご注意

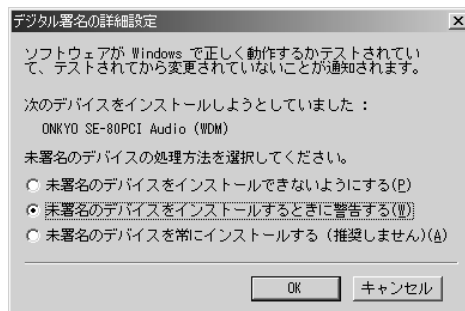
環境によってはWindowsのシステムCD-ROMが必要になる場合があります。

## オーディオボードドライバのインストール

8. 手順7のドライバのセットアップで、右のようにインストールを中止するようなメッセージが表示されることがあります。



この場合は、「詳細設定」をクリックし、右の画面で「未署名のデバイスをインストールするときに警告する」を選択し、「OK」をクリックします。



9. 右の画面で「はい」を選択し、「OK」をクリックすることで正常にインストールが終了します。

※ 同梱のドライバはマイクロソフト社の認証を受けていないためメッセージが表示されますが、弊社での検証上システムに重大な影響を及ぼす危険性はありません。





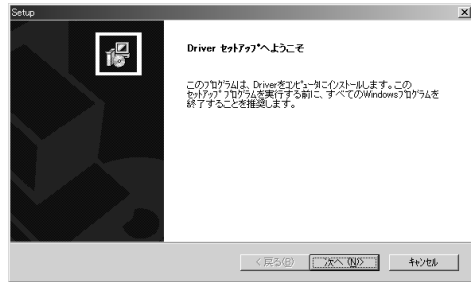
# オーディオボードドライバのインストール

## ■ ドライバのインストール (Windows 2000の場合)

### ご注意

- インストール作業を開始する前に必ずPCの電源が切れていることを確認してください。
- 必ずAdministrator権限でインストールをおこなってください。

1. 本製品を「オーディオボードの取り付け」(10~12ページ)に従ってPCに取り付けます。
2. PCを起動すると、Windowsの起動中に本製品が自動的に検出され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されますが、Windowsが正常起動するまでいったん「キャンセル」をクリックして終了させます。
3. Windowsが完全に起動し終わった状態でドライバのインストール作業に進みます。付属CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
4. まず付属CD-ROMの「Driver」フォルダー→「win\_2000」フォルダ内にある「Setup.exe」ファイルを実行(ダブルクリック)します。

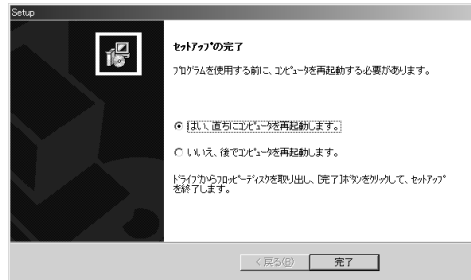


5. 「次へ」をクリックすると右の画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

※ 同梱のドライバはマイクロソフト社の認証を受けていないためメッセージが表示されますが、弊社での検証上システムに重大な影響を及ぼす危険性はありません。



6. ドライバファイルのコピーが始まり、右の画面が表示されますので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。Windowsが再起動されます。
7. Windowsの再起動後、ドライバのセットアップが自動で行われ、インストール作業は終了です。



### ご注意

環境によってはWindowsのシステムCD-ROMが必要になる場合があります。





## オーディオボードドライバのインストール

### ■ ドライバインストールの確認

ドライバのインストール終了後、「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」を開き、「システム」をクリックします。「システムのプロパティ」画面で「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」のボタンを押します。デバイスマネージャ画面で次のデバイス名が正常に認識されているか確認してください。

### サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ

- ONKYO SE-80PCI Audio (WDM)



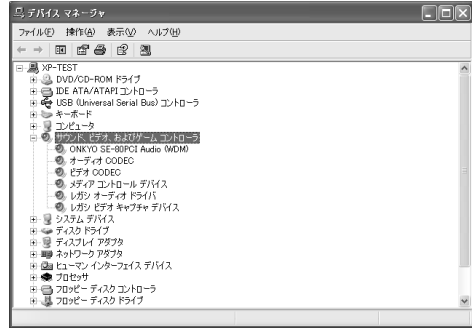
OSのバージョンによって表示される画面構成や文字が違う場合があります。

Windows Meの場合は、

「コントロールパネル」→「システム」を開き、「デバイスマネージャ」タブを選択します。

Windows 2000の場合は、

「コントロールパネル」→「システム」を開き、「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンを押します。



### ■ オーディオデバイスの確認

「コントロールパネル」→「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」を開き、「サウンドとオーディオデバイス」をクリックします。サウンドとオーディオデバイスのプロパティ画面で、「オーディオ」タブを選択します。

音の再生の既定デバイス・録音の既定デバイスが「ONKYO SE-80PCI」になっていることを確認してください。



OSのバージョンによって表示される画面構成や文字が違う場合があります。

Windows Me/2000の場合は、

「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」を開き、「オーディオ」タブを選択します。





# デジタル出力の設定

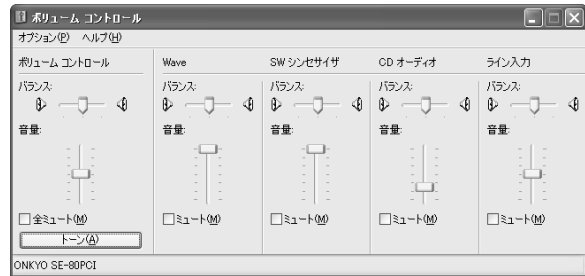
本製品はデジタル (S/PDIF) 出力端子を装備していますが、2通りの動作モードがあります。ドライバインストール後、初期設定の状態ですでにデジタル出力は可能ですが、ライン入力をミキシングする場合、下記のような設定が必要となります。

## ■ デジタル(S/PDIF)出力の設定

1. デジタル出力の設定をするには、タスクトレイの「音量」アイコンをダブルクリック、または「コントロールパネル」→「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」を開き、「サウンドとオーディオデバイス」をクリックします。サウンドとオーディオデバイスのプロパティ画面で「音量」タブを選択し、デバイスの音量の「詳細設定」ボタンを押します。本製品のボリュームコントロール画面が表示されます。



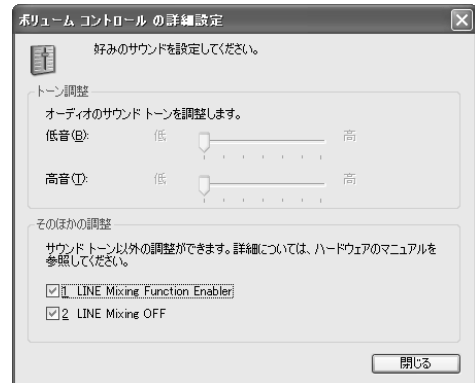
タスクトレイの音量アイコン



ヒント

各ボリュームの表示/非表示は「オプション」→「プロパティ」で変更できます。

2. 「トーン」ボタンをクリックします。初期状態では、「そのほかの調整」の2項目にチェックが入っています。
  - 「LINE Mixing Function Enabler」は必ずチェックを入れてください。
  - 「LINE Mixing OFF」にチェックされているとミキサーを介さないフルデジタル出力が有効になります。チェックがない場合は、ライン入力とのミキシングが可能になりますが、音質が低下します。

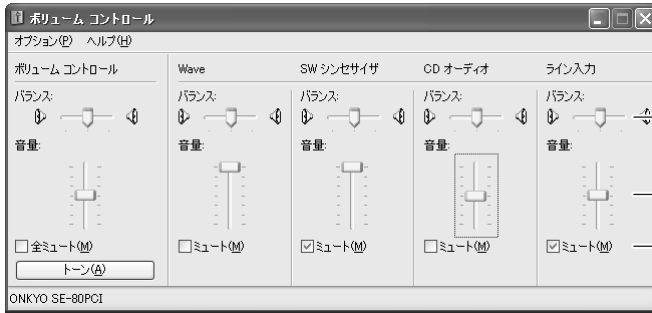




# 再生のしかた

## ■ ボリュームコントロールの使いかた

タスクトレイの「音量」アイコンをダブルクリック、または「コントロールパネル」→「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」を開き、「サウンドとオーディオデバイス」をクリックします。サウンドとオーディオデバイスのプロパティ画面で「音量」タブを選択し、デバイスの音量の「詳細設定」ボタンを押します。本製品のボリュームコントロール画面が表示されます。



バランス  
左右の音量バランスを調整します

音量  
音量を調整します

ミュート  
チェックのついた音声が無音になります

マスターボリューム

音声の種類

### ご注意

本製品ではマスターボリュームは無効になります。音量は各音声ごとに調整するか、プレーヤーソフトにて調節してください。

### ヒント

- 各音声のボリュームの表示/非表示は「オプション」→「プロパティ」で変更できます。
- SWシンセサイザのバランスや音量は、コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」で、「MIDI音楽の再生」の既定デバイスとして「Microsoft GS wavetable SW Synth」を選択した場合に有効になります。

## ■ Windows Media Playerの使いかた

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」→「Windows Media Player」でプレーヤーを起動します。

Windows Media Playerでは、音楽CD、MP3、WAV、WMAなどの音声を再生（または録音）することができます。

詳しくは、Windows付属のドキュメントまたはヘルプを参照ください。

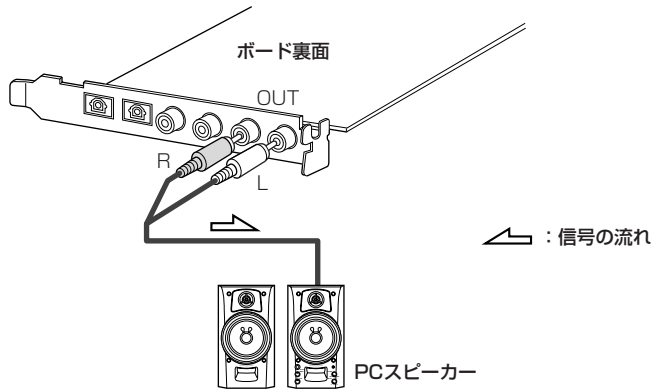




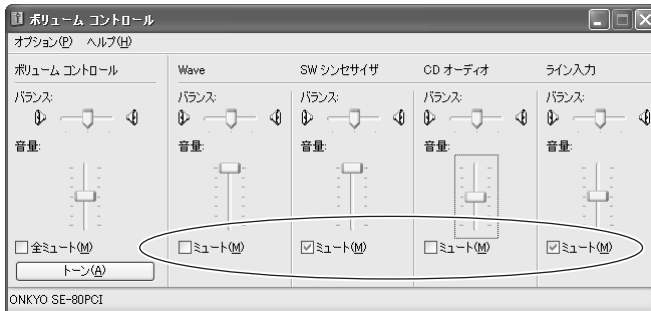
## 再生のしかた

### ■ パソコンの音声をアンプ内蔵のPC用スピーカーで再生する（アナログ出力）

1. PCスピーカーを図のようにSE-80PCI本体に接続します。



2. 再生したい音声の「ミュート」のチェックボックスにチェックが入っていないか確認し、入っている場合はチェックを外してください。



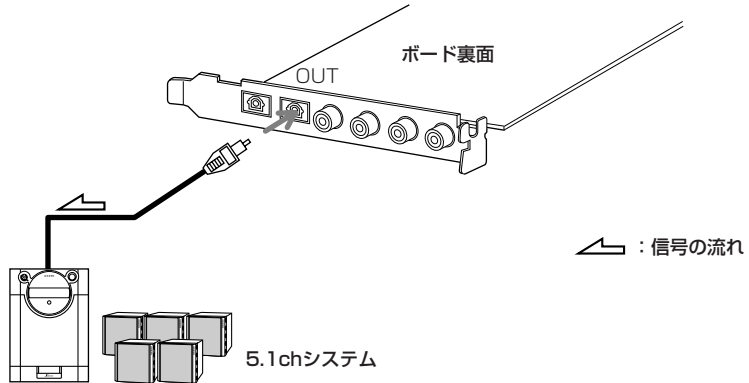
3. Windowsに付属の「Windows Media Player」などで音声を再生します。



## 再生のしかた

### ■ パソコンの音声を5.1chデジタルホームシアターシステムで再生する

1. 5.1chシステムを図のようにSE-80PCI本体に接続します。



2. DVDプレーヤーソフトなどで音声を再生します。



対応DVDプレーヤーソフトについては、当社Webサイト (<http://www.wavio.net/>) でご確認ください。



Windows 2000 Professionalで5.1chデジタルの再生をおこなう場合は、Service Pack 2がインストールされている必要があります。

# 録音のしかた

## ■ 録音コントロールの使いかた

1. タスクトレイの「音量」アイコンをダブルクリック、または「コントロールパネル」→「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」を開き、「サウンドとオーディオデバイス」をクリックします。サウンドとオーディオデバイスのプロパティ画面で「音量」タブを選択し、デバイスの音量の「詳細設定」ボタンを押します。本製品のボリュームコントロール画面が表示されます。
2. 「オプション」メニューから「プロパティ」を選択します。
3. プロパティ画面の「音量の調節」で、「録音」を選択し、「表示するコントロール」で、録音する音声を選択します。「OK」ボタンを押します。
4. 「録音コントロール」が表示されます。録音する音声を選択し、バランス、音量を調節します。

### ⚡ ご注意

SE-80PCIでは「Mixer」と「ライン入力」のコントロールが使用できます。その他のコントロールは一覧に表示されますが、使用できません。





## 録音のしかた

### ■ サウンドレコーダーの使いかた

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「サウンドレコーダー」で起動します。

サウンドレコーダーでは、音声を様々なフォーマット、ビットレートでPCに録音することができます。

詳しくは、Windows付属のドキュメントまたはヘルプを参照ください。



### ♪ ヒント

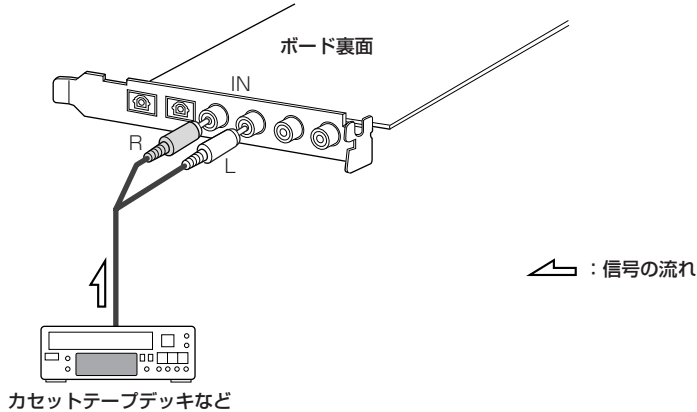
サウンドレコーダでは、約1分程度の音声をWAVE形式のファイルで録音できます。他の形式での録音や、さらに長い時間での録音を行う場合は、別途サウンド録音のソフトウェアをご用意ください。



## 録音のしかた

### ■ ライン入力のアナログ音声をパソコンに入力する

1. アナログ再生させる機器を図のようにSE-80PCI本体に接続します。



2. 「録音コントロール」で録音したい音声を選択します。



#### ライン入力での録音コントロールの音量について

LPLレコードやカセットテープなどは、出力レベルが低いため、ライン入力の録音レベル（音量）は上から1目盛を目安に調整してください。

CDやDATなどは、出力レベルが高いため、ライン入力の録音レベル（音量）は下から1目盛りを目安に調整してください。



3. サウンドレコーダーを起動します。







## 録音のしかた

4. サウンドレコーダーの「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択します。Soundのプロパティ画面で、「変換」ボタンを押します。サウンドの選択画面が表示されます。



5. 「形式」で録音したいオーディオフォーマットを選択、「属性」でサンプリングレートなどを選択し、「OK」を押します。



6. サウンドレコーダーの録音ボタンを押すと録音が始まります。同時に録音したい音源の再生を行ってください。



- 録音レベルの調節は、直接入力しているソースの入力レベルを調節してください。
- ライン入力からの録音中に「ボリュームコントロール」および「録音コントロール」の音量を動かすと、録音レベルが変化しますので、動かさないでください。



録音ボタン

あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません

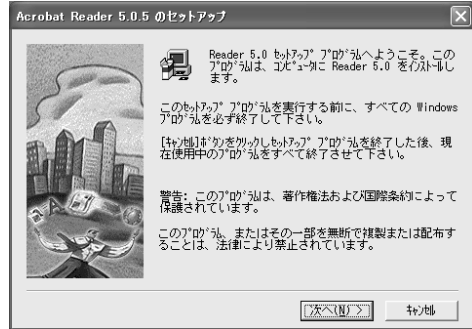


# オンラインマニュアルの使いかた

付属のインストールCD-ROMに入っているオンラインマニュアルはPDF形式のファイルです。PDFファイルを読むには、Acrobat Readerが必要になります。インストールされていない場合は、まず下記の「Acrobat Readerのインストール」にしたがって操作を進めてください。

## ■ Acrobat Reader のインストール

1. 付属のインストールCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. マイコンピュータからCD-ROMドライブを開きます。
3. 次に「Adobe」フォルダを開きます。
4. フォルダ内にある「ar505jpn.exe」をダブルクリックします。ファイルの抽出が始まります。
5. あとは画面の指示にしたがってください。次の画面へ行くには「次へ」をクリックします。



## ■ Acrobat Readerの基本操作

### メニューバーとツールバー

オンラインマニュアルを起動すると、画面の上部に図のような画面が表示されます。



- 先頭ページを開きます
- 前のページに戻ります
- 最後のページを開きます
- 次のページへ進みます
- ページを拡大表示します



## 主な仕様

接続方式：	PCIバス (PCI ver. 2.1以上)
サンプリング周波数：	48kHz (デジタル出力)
周波数特性：	0.3Hz ~ 20kHz (+0/-0.5dB, ライン出力)
SN比：	110dB (A-フィルタ, ライン出力)
全高調波歪率：	0.003% (1kHz, 0dB)
ライン出力レベル：	2.0Vrms
質量：	110g

仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。



## 故障かな？と思ったら

正常に動作しないときは、この表を参考にしてお調べください。これらの処理をしても直らないときやこれ以外の症状のときは、「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名 (SE-80PCI)」「故障状況」をできるだけ詳しく、お買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

症状	原因	処置
デバイスを認識しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続が不完全。</li> <li>PCのリソースが不足している、または他のデバイスと競合している。</li> <li>他のデバイスと電気的な問題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10～12ページを参考に、オーディオボードが確実にPCに接続されているか、確認してください。</li> <li>PCの取扱説明書などを参照して適切なリソースを確保してください。</li> <li>ボードの取り付け位置を変更してください。この作業により問題が回避できる場合があります。</li> </ul>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミュートされている。</li> <li>出力レベルが小さい。</li> <li>他の音声出力デバイスが使用されている。</li> <li>外部アンプあるいはスピーカーに問題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windowsのタスクバーにあるスピーカーのアイコンを右クリックして「音量の調節」パネルを開き、ミュートのチェックをはずしてください。</li> <li>Windowsのタスクバーにあるスピーカーのアイコンを右クリックして「音量の調節」パネルを開き、各音声出力のレベルを適正な値に調整してください。</li> <li>コントロールパネルにある「マルチメディアのプロパティ」を開き、「再生」の「優先するデバイス」から本製品を選択してください。それでも出力されない場合は、「優先するデバイスのみ使用する」のチェックボックスにチェックを入れてください。</li> <li>ラインアウト端子から外部アンプやスピーカーに確実に接続されているかどうか確認してください。その際、ケーブルに問題がないか併せてご確認ください。また、外部アンプやスピーカーの電源やボリュームを確認してください。</li> </ul>
左右の音量バランスがかたよっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バランスが中央に設定されていない。</li> <li>外部アンプあるいはスピーカーに問題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windowsのタスクバーにあるスピーカーのアイコンを右クリックして「音量の調節」パネルを開き、バランススライドバーで調整してください。</li> <li>外部アンプやスピーカーのバランスを確認してください。</li> </ul>



## 故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
5.1chデジタル出力ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用しているソフトがSE-80PCIでのデジタル出力に対応していない。</li> <li>• Windows 2000 Professionalで、Service Pack 2のインストールがされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SE-80PCIの仕様はデジタル出力に対応していません。対応確認済みDVDプレーヤーソフトの最新情報は当社ホームページをご確認ください。</li> <li>• ドライバのバージョンやOSによって対応状況が異なります。詳細は当社ホームページをご確認ください。</li> <li>• Service Pack 2をインストールしてください。</li> </ul>
ライン音声が入力できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ライン入力の接続が不完全。</li> <li>• 外部機器から音声が出力されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部からライン入力に確実に接続してください。</li> <li>• 外部機器から音声が出力されているかどうか確認してください。</li> </ul>
音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 音声出力や入力中に、負荷のかかる作業をしている。</li> <li>• CPUの処理が再生に追いついていない。</li> <li>• DVD再生時、グラフィックカードのハードウェア再生支援機能を持っているPCで、機能が動作していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 録音等をされる場合には、CPUに負荷のかかる作業は控えてください。</li> <li>• CPUが推奨スペックを満たしていない場合は期待した性能を発揮できない場合があります。また、CPUが推奨スペックを満たしている場合でもCPUが非常に高負荷の状態である場合は音が途切れることがあります。この場合は他のアプリケーションをすべて終了してください。</li> <li>• DVDプレーヤーソフト側でハードウェア再生支援機能を有効にしてください。</li> </ul>
雑音が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• テレビなど、強い磁気を帯びたものの近くに置いている。</li> <li>• 各入出力端子の接続が不完全。</li> <li>• 外部スピーカーに問題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• テレビなどから十分に離して置いてください。</li> <li>• 12ページを参照して確実に接続してください。</li> <li>• 接続するスピーカーの製造元にお問い合わせください。</li> </ul>
CD-ROMドライブからの音声が出力されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CD-ROMドライブがデジタル音声出力に対応していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• システムがCD-ROMドライブからのデジタル音声ストリームに対応していない場合、ドライブから出力された音声は出力されません。このような場合は、CD-ROMドライブの音声出力（ヘッドホン出力等）をライン入力に接続し、音量を適当な値に調節してください。</li> </ul>

製品の故障により、正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDのレンタル料等）については保証対象になりませんので、大事な録音をされるときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。



## 修理について

### ■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### ■ 調子が悪いときは

意外なミスが故障と思われています。この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、修理をご依頼ください。

### ■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

### ■ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名 (SE-80PCI)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しく、お買い上げ店または当社サービスステーションまでご連絡ください。

### ■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

### ■ 補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。

# オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。万が一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お客様 ご相談窓口	<b>カスタマーセンター</b> 受付 9:30~17:30 (土日祝、弊社休日除く)
	■カタログのご請求、製品についてのご相談
	*e-mail: ホームシアター/オーディオ製品 → customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品 → mmcadmin@onkyo.co.jp
	*TEL: ナビダイヤル0570-01-8111 (全国どこからでも市内料金で通話いただけます) または072-831-8111 (携帯電話、PHSから)へどうぞ。 *FAX: 072-831-8124 〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ → <http://www.onkyo.co.jp>

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ → <http://www.e-onkyo.com>

**修理窓口** 修理のご依頼は取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

## 北海道地区

札幌サービスステーション  
TEL 011-747-6612 FAX 011-747-6619  
〒001-0028 札幌市北区北28条西5-1-28  
トーション北28条ビル

## 青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区

仙台サービスステーション  
TEL 022-297-0571 FAX 022-257-7330  
〒984-0051 仙台市若林区新寺4-9-5  
第二丸昌ビル 1F

## 茨城・栃木地区

宇都宮サービスステーション  
TEL 028-634-4307 FAX 028-634-4308  
〒320-0831 栃木県宇都宮市新町2-7-7

## 群馬・埼玉・新潟地区

大宮サービスステーション  
TEL 048-651-8612 FAX 048-651-9137  
〒330-0034 埼玉県さいたま市土呂町2-29-2  
高安ビル 1F

## 千葉・東京(23区)地区

東京サービスセンター  
TEL 03-3861-8121 FAX 03-3861-8124  
〒111-0054 東京都台東区鳥越1-2-3  
ハマスエビル

## 東京(23区を除く)・山梨・長野地区

八王子サービスステーション  
TEL 0426-32-8030 FAX 0426-36-9312  
〒192-0914 東京都八王子市片倉町358番地

## 神奈川地区

横浜サービスステーション  
TEL 045-322-9342 FAX 045-312-6603  
〒220-0072 横浜市西区浅間町1-13  
共益ビル5F

## 岐阜・静岡・愛知・三重地区

名古屋サービスステーション  
TEL 052-772-1229 FAX 052-772-1331  
〒465-0013 名古屋市中東区社口1丁目1001番

## 富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区

大阪サービスセンター  
TEL 06-6576-7620 FAX 06-6576-7604  
〒552-0013 大阪市港区福崎2丁目1番地49号

## 鳥取・島根・岡山・広島・山口(下関を除く)地区

広島サービスステーション  
TEL 082-262-3315 FAX 082-262-6571  
〒732-0057 広島市東区二葉の里2-8-28

## 徳島・香川・愛媛・高知地区

高松サービスステーション  
TEL 087-868-5662 FAX 087-868-5672  
〒760-0079 高松市松縄町44-8 西原ビル1F

## 山口(下関)・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区

福岡サービスステーション  
TEL 092-418-1357 FAX 092-418-1358  
〒812-0006 福岡市博多区上牟田3-8-19  
みなみビル202

## オンキヨーサービス認定店

### 静岡サービス認定店

TEL 0543-46-6502 FAX 0543-46-6502  
〒424-0063 静岡県清水市能島171-15

### 北陸サービス認定店

TEL 0776-27-1868 FAX 0776-27-1768  
〒910-0001 福井県福井市大願寺3-5-9

### 岡山サービス認定店

TEL 086-274-5840 FAX 086-274-5840  
〒703-8271 岡山県岡山市円山13

### 熊本サービス認定店

TEL 096-364-1475 FAX 096-364-1475  
〒862-0970 熊本県熊本市渡鹿7-15-18

### 沖縄サービス認定店

TEL 098-876-9195 FAX 098-876-9195  
〒901-2104 沖縄県浦添市当山558番地の8  
キャッスルサイド浦添102号

2001年12月現在

お客様相談窓口、修理窓口の名称、所在地、電話番号は変更になる場合がございますのでご了承ください。

㊄



ご購入されたときにご記入ください。  
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： \_\_\_\_\_ 年 月 日

ご購入店名： \_\_\_\_\_

Tel. ( ) \_\_\_\_\_

メモ：

**ONKYO**

オンキヨー株式会社

本社 大阪府寝屋川市日新町2-1 〒572-8540

ONKYO  
HOMEPAGE  
<http://www.onkyo.co.jp/>  
<http://www.wavio.net/>

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：

お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。

●東京サービスセンター ☎ 03(3861)8121 ●大阪サービスセンター ☎ 06(6576)7620

SN 29343323

Printed in Japan  
D0204-1